

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆猛暑癒やす飲食消費、日本経済に恵み 4～6月GDP年率2.2%に上方修正

・記録的な暑さが日本経済に恵みとなった。内閣府が8日発表した4～6月期のGDP改定値は8月の速報値から大幅な上方修正となり、年率で2%を超える成長率となった。早めに訪れた暑さが人々の飲食需要を喚起し、個人消費が速報値から上振れ。この成長ペースが1年続いたと仮定した場合の年率換算が2.2%増だった。

◆7月の経常黒字2兆6843億円 所得収支の黒字幅縮小で

・財務省が発表した7月の国際収支統計(速報)によると、海外とのモノやサービスなどの取引状況を示す経常収支は2兆6843億円の黒字だった。前年同月から19.1%減少した。黒字は6カ月連続。第1次所得収支が黒字幅を縮小したこと、経常収支の黒字幅が縮小した。貿易収支は1894億円の赤字だった。

◆8月の街角景気、4カ月連続上昇 基調判断は据え置き

・内閣府が発表した8月の景気ウオッチャー調査(街角景気)は現状判断指数(DI、季節調整値)が前月比1.5ポイント高い46.7だった。4ヶ月連続で上昇した。猛暑の需要に対応する企業活動や外食などが好調だった。内閣府は基調判断について「持ち直しの動きがみられる」と見方を据え置いた。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆建設業の外国人材、24年に15万人突破 特定技能は倍増―厚労省

・厚生労働省が公表した2024年「外国人雇用実態調査」結果によると、建設業で働く外国人労働者は15万2411人で、前年から2万9815人(24.3%)増加。このうち「技能実習」は7万9414人で、同1万931人(16.0%)の増加。「特定技能」は4万6632人で、同2万3370人(100.5%)増加。外国人労働者に占める割合は「技能実習」が52.1%だった。

◆TOTOの田村信也社長「米国の会社と言われるぐらいに」

・TOTOは米国で約30年ぶりとなる衛生陶器の新工場を稼働。米国で人気が高まる温水洗浄便座「ウォシュレット」の現地生産も目指す。関税の影響が懸念される中でも米国は付加価値の高い住設製品への需要が根強い。田村社長は「TOTOは米国の会社でなかったのかと言われるぐらいに現地でブランドを浸透させていきたい」と話す。

◆三菱電機、最高益でも希望退職募集 53歳以上対象

・三菱電機は53歳以上の正社員を対象に希望退職を募集すると発表。通常のリストラ支援制度を拡充し、一時金を加算する特別措置などを導入する。2026年3月期に3期連続で過去最高益を見込むなか、人員構成の若返りをはかる。26年3月15日時点で満53歳以上かつ勤続3年以上が経過した正社員と定年後再雇用者を対象とする。

《 注目商品 》

■トクラス、「Bb+（ビービープラス）」普及価格帯キッチンモデルチェンジ

・リフォーム向けの普及価格帯キッチンモデルチェンジ。袖壁付き造作対面キッチン、アイランド型、L字型などさまざまなレイアウトに対応。「カウンター間口調整」や、梁や柱に合わせてカットできるレンジフードの「幕板仕様」を追加するなど建築対応力を強化。



■タカショー、低炭素素材配合のフェンス「モクプラボード ECO」

・湿気による腐食に強く、切断・ビス打ちなどの加工のしやすさなど従来品と同等の性能を備え、アルミなどの素材と比べリーズナブルな製品。カラーは「ダークパイン」と「ブラウンエボニー」の2色。低炭素素材「CR LIMEX(シーアール ライメックス)」を配合。



■ウッドワン、ニュージーパイン建具に新色追加

・ニュージーパインを使った住宅用内装建材シリーズ「PINO EARTH(ピノアース)」から、デザイン・色味を新しくした建具「ピノアース2025」を発売。ニュージーランドにある「ウッドワンの森」で計画的に植林・育林するラジアータパインの登録商標。

